

評価実施日		令和4年2月17日(木)	
委員	氏名	所属等	備考
	曾我部 恵	PTA会長	
	片岡 幸江	PTA副会長	
	前川 廣子	PTA副会長	
	坂上 公三	新居浜市連合自治会長	
	越智 真次	愛媛県立新居浜西高等学校教頭	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校評価アンケートの結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の中では、キャリア教育という言葉が何を指すのか分からないという声も聞かれる。文書を配付しても、読んで理解することは難しい場合もあるので、入学時に説明する等の工夫をすると理解が深まり、評価も上がってくると思う。 ICTについては、現在はアプリを活用して、まず機械に慣れる、触れることを楽しませてもらっている段階である。このような機会が増えることで、教職員のスキルが上がっていくことを希望している。 高等学校ではICTについて、使えるものは極力使っていくという発想で、負担にならないよう無理せず、できることに活用している。川西分校ではうまく活用できているのではないかと。 コロナ禍で、登校させるのが不安なお子さんが家庭から授業や行事に参加し、互いに友達の顔を見ることで安心できることもあった。このような使い方ができるようになったのは良かった。校内のWi-Fi環境も整ってきており、一步一步前進している。 コロナ禍で保護者が学校に来る機会が減っているので、学校ホームページの更新が増えるとありがたい。行事がなくても日々の様子を載せてもらえるとう嬉しい。 業務改善について、通年で見れば比較的業務が少ない時期もあるので、その時に年次有給休暇を積極的に取得するよう促すようにしている。 <p>2 自己評価表について</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の数値が高く、教職員の自己評価も高いようである。しかし中には、「発達に即した特別活動・生徒指導の充実」など5段階評価が低めに表れているが、保護者の満足度や、本委員会での保護者の意見からすると、もっと評価が上がってもよいと思われる項目もあった。 <p>3 学校運営全般に関する提言</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般の方が学校を知る上で参考にするのはホームページだと思うので、学校の特徴をアピールする内容や、ハード面の特徴なども掲載してはどうか。学校の状況を知りたい保護者にとっても参考になると思う。 教職員の働き方を間近で見ていると、人手が十分でないと感じたり、遅い時間、休日等の業務負担を心配したりすることがある。遠距離通勤者の高速利用など、福利厚生が改善すれば教職員も働きやすくなると思う。PTAもできることがあれば一緒に改善していきたい。 同じ敷地内に学校があるということで、本校(西高)を利用してもらいたい。結びついて地域を盛り上げていくことが、今の教育でも求められていることである。 高等学校の敷地内にこの学校ができたことで、障がいのある子どもへの理解が深まっているのは確かだと思う。今後も地域の方に支えられ、発展していけるよう保護者も努力したい。両校の交流は、互いへの良い刺激になっている。コロナ禍であまり機会がなかったが、早く落ち着き、交流が再開できるとよい。 地域のみならず学校を支えたいと思い、地域の文化祭に作品を展示してもらおうなどの取組を続けている。学校から地域等へ何か要望があれば、協力するので遠慮せず申し出てもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用したキャリア教育の取組の発信は、更新が少なかったこともあり、「分からない」という評価が見られたため、今後も継続して、その意義を正確に伝えるよう努める。保護者の意見も参考に、啓発の仕方を検討・工夫する。 引き続き、ICT機器とその使用環境の整備、活用のための研修等の取組を行う。1人1台端末については、障がいの特性に応じた支援等について研修を行いスキルを高めながら、日常的に使用し、有効活用を努める。 複数の教室をオンラインでつないで授業や行事を行うことや、家庭からリモートで朝の会に参加すること等が無理なく行えるようになり、体調不良等の場合でも遠隔で授業に参加できるメリットがあった。今後も、授業や行事を計画する上での選択肢の一つとしたい。 学校行事等の掲載に加えて、日々の学校生活の様子も掲載するなどし、コロナ禍で参観の機会が減った保護者とのつながりを保つ。また更新の頻度が増えるよう努力する。 業務内容を精査し、効率化を図ることにより、児童生徒にしっかりと向き合うための時間を確保できるようにする。 自己評価表の5段階評価の内、最も高い評価が、B「かなりの成果があった」であった。今年度内にある程度の成果が得られたが、次年度も引き続き実践したいという意図で、評価がBとなっている部分もある。客観的な意見をいただいたので、次年度への参考としたい。 学校ホームページについて、掲載内容、更新頻度ともに見直しを図っていく。他校の状況も参考にしながら検討し、提案していただいたような内容も可能な範囲で取り入れていく。 児童生徒に関わる時間の充実のためにも、教職員は、日々の働き方を意識し、必要なところでは効率化を図り、心身を健康に保つことが大切である。PTAの協力も得ながら改善を図りたい。 高等学校に隣接しているという利点を生かし、今後も連携・協働して交流及び共同学習を進めたい。コロナ禍の社会変化の中で進歩したりリモートによる交流等も視野に入れながら、中止となっている事業等を再開できるよう、最適な実施方法を検討していく。双方の児童生徒にとって有意義なものとなるよう、十分に打合せを行い、無理なく継続していけることを目指す。 地域人材や社会資源を把握し、積極的に活用するとともに、地域の方々から温かく見守っていただけることに感謝し、学校としてもできることがないか考えていきたい。

